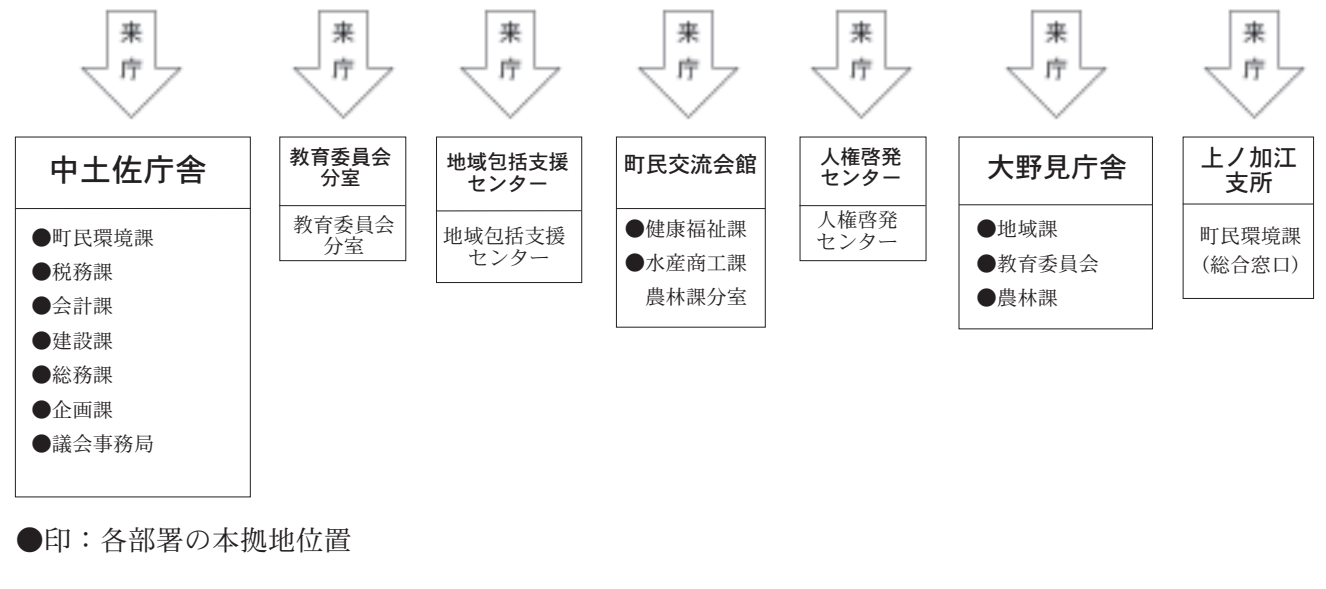


■現在の役場組織

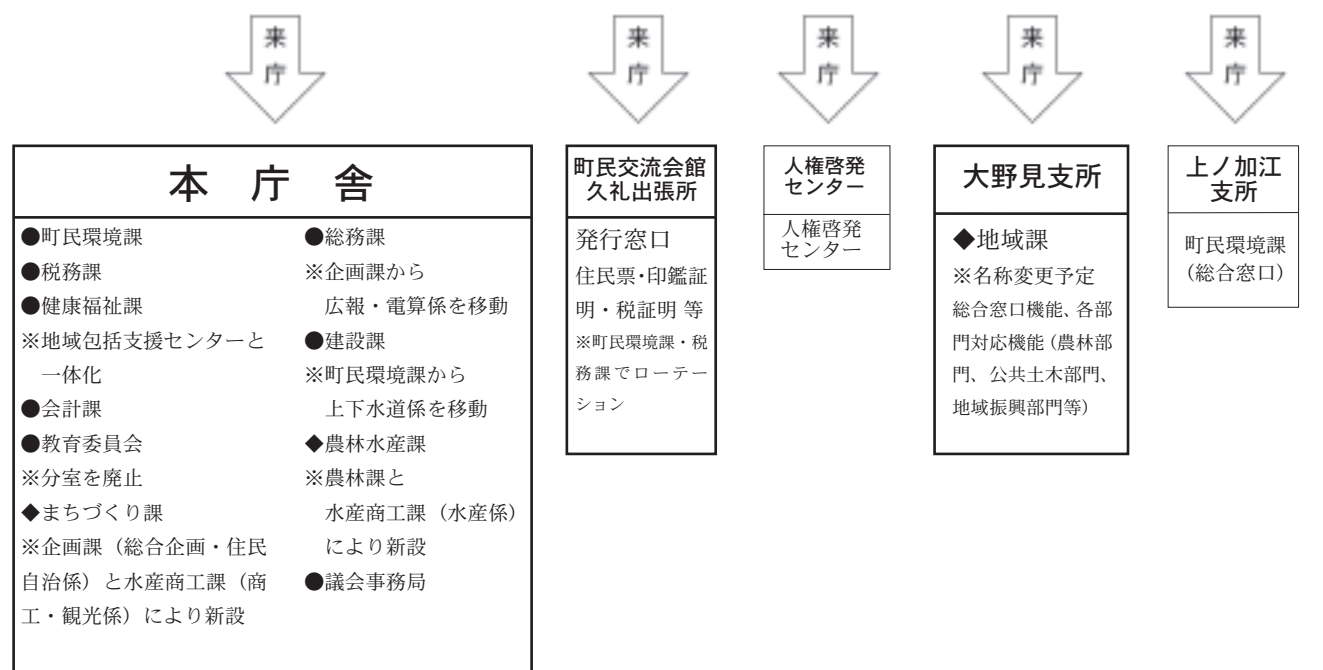
町民の皆様



■移行後の再編成案

※平成 33 年度に移行予定

町民の皆様



現在、町は平成32年度末までの完成を目標に新庁舎や消防分署、久礼保育所移転の準備を進めています。今年度は土地の造成や道路等の設計を行っており、来年度には建物の設計を始めたいと考えています。

それに向けて、新庁舎については、この9月に「新庁舎建設基本計画」をとりまとめました。この計画には、これまでの候補地選定の経緯や平成24年度に行われた審議委員会において検討された防災機能を含む新庁舎に備えるべき機能、そして延床面積や駐車台数といった新庁舎の規模等の内容が盛り込まれています。

この中で、新庁舎が完成して業務を開始する際には、住民サービスの向上と業務の効率化を目的として、課の統廃合を含む役場組織の再編成（機構改革）を行うこととしています。

この再編成により、町民の皆様に大きく影響するところが多くありますので、再編成案について7・8月にかけて町内8箇所9回に渡り説明会を行い、合計69名（久礼地区14名、上ノ加江地区19名、大野見地区22名、矢井賀地区14名）の参加がありました。今回は、役場組織の再編成案（左ページ）と説明会で伺った主なご意見についてご報告をさせていただきます。

今後は、いただいたご意見に配慮をしつつ、できるだけ早期に実現できるようにスケジュールを調整しながら進めて参りますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



- 久礼地区**
 - 再編成案は前倒ししてできるところは前倒ししてはどうか
 - 久礼出張所へ自動発行機の導入は考えられないか
 - 新庁舎への商工会入居について
- 上ノ加江地区**
 - 新庁舎駐車台数は多く確保するべきだ
 - 支所機能も含めた公民館建替えをしてはどうか
- 大野見地区**
 - 支所化がやむを得ないというのわかるが、余命宣告を受けたようだ
 - 人口の減少等の色々な条件があつて支所になることは仕方ないと思うが、対等合併であり同じ立場であるので、支所になって地域がさびれたということがないようにしてもらいたい
 - 大野見に置く部署には地域のことをよく知っていて、積極的に地域へ出ていくような職員を置いてほしい
 - 福祉のエキスパートを置いてほしい
 - 支所という名称にこだわらない、中身が大事と思う
 - 人口が減っていく。増やす手立てを。子どもがよそで勉強して戻ってきて活躍できる場所づくりを
- 矢井賀地区**
 - 専門的なところは役場におまかせする
 - 行政機能をまとめるのは良いこと。
 - あとは住民サービスを第一に考えてほしい
 - 人口減少に合わせて職員を減らしていくのでもいいのか
 - 福祉サービスを充実させてほしい
 - 職員の質の向上を図ってほしい
 - 休日や時間外対応も検討してほしい

今後の予定

平成 27 年度	新庁舎等造成設計
平成 28 年度	新庁舎等建築設計
平成 29 年度	造成工事開始
平成 30 年度	新庁舎工事開始
平成 32 年度	新庁舎完成

「新庁舎建設基本計画」は役場企画課にご来庁いただくか、もしくは町ホームページからご覧いただけます。

【問い合わせ先】
企画課・新庁舎建設係 ☎ 52-2365

組織の主な変更点

◆大野見庁舎から大野見支所へ

現在の大野見庁舎において、地域課を一新し、現状と同様の窓口機能（住基・戸籍・税等）に加えて、農業や林業、各地域の団体への支援等の地域に必要な機能を強化。

◆まちづくり課・農林水産課の新設

移住定住や観光振興などのこれからのまちづくりを考える課として「まちづくり課」を、産業部門（農・林・水産業）をまとめる課として「農林水産課」を新設。

◆教育委員会・農林課の分室制廃止

現在の教育委員会と農林課の分室制を廃止し、行政機能を新庁舎に集約。

◆久礼出張所（仮称）の設置

新庁舎への移行に際し、近隣住民に対する環境変化の緩和策として、需要の多い住民票・印鑑証明・税証明の発行業務に限定した「久礼出張所（仮称）」を一定期間設置。